

ロボットの動き楽しむ

雲雀丘学園 プログラミング体験

兵庫・宝塚

雲雀丘学園（兵庫県宝塚市雲雀丘4）は、ロボットプログラミング専用教室を開設した。来年4月からの本格運用を前にプレイベ

ントの体験教室を12月まで開いている。報道関係者に公開され、雲雀丘学園小学校4〜6年の39人が参加。児童らは夢中になって、ロボットの動きに目をこらした。

プログラミング教育は、学習指導要領改訂で2020年度から小学校で必修化され



プログラミング教室で、タブレットを手に懸命にロボットの動きを見る子どもたち
—兵庫県宝塚市の雲雀丘学園で

る。同学園は来年4月から放課後課外教室として毎日授業。対象は雲雀丘学園幼稚園（年長）と同小学校、同中学校（1年）で、三つのクラスに分ける。学年の違う子どもが一緒に作業することで、主体的に考える力やコミュニケーション力、思いやりを育てる目的。

阪神電鉄の子会社「ミマモルメ」（大阪市福島区）などが出資するプログラミング教室「プログラボ」の専門家が指導する。

体験教室には対象児童・生徒の約4割に当たる約400人が申し

込んだ。自律型ロボットを教材に、土星や火星の絵がある縦180センチ、横90センチの障害物付きコースで、前進・後退、回転の動きを組み合わせ、地球から土星に行くプログラミング

を2人一組で考えた。いずれも5年の島本八千代さん、上中智子さんは成功し「微調整を何度もし、うまくいったので楽しかった」と話していた。

【亀田早苗】